



# 善正寺だより

掲示板法話

## 苦悩の人生を引き受けて生きる

### その人は白蓮華のように尊い

六月の日曜日、場所は東京の秋葉原。またまた、驚くべき、痛ましい事件が起こりました。事件の詳細や背景については皆さんご承知の通りです。

本欄で申し上げたいことは「他人事ではない」、「誰しも被害者になったり、加害者になる可能性がある」ということです。「加害者になる?そんな恐ろしいこと、私にできるはずがない」との反論、お叱りを受けるかも……。

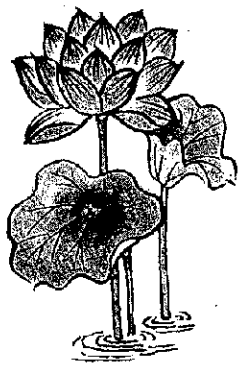
ある社長さんは毎朝正門で出勤する従業員の方々に「おはよう。今日もご苦労さまです」と挨拶するそうです。ところが、「おはようございます」と返事が返ってくるのが3分の1、黙って会釈するのが3分の1、残りの3分の1は知らぬ顔で通り過ぎる、とのこと。「従業員の心の病が悩みの種なのです」と顔を曇らせていました。この企業は決して業績不振の会社ではありません。むしろ、今日数少ない絶対調組の企業であり、そこで働けるというところは幸運な人たちのはずなのです。経済的に恵まれていても、お蔭様をキャッチする(受け止める)心の受信機が麻痺しているのです。

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
TEL:0593-31-1670  
TEL:0593-32-0733

問題は、「自分が不遇、不幸なのは社会が悪い。親が悪い。学校が悪い」と責任転嫁の論理がまかり通っている点にあるのではないのでしょうか。

先日、日本環境経営大賞の表彰式で素晴らしい方に出会いました。この賞は、環境文化の向上を目指す取り組みを顕彰し、地球環境問題の解決に貢献しようという三重県がスポンサーになっている表彰制度で、小生も選定委員の末席を汚しています。

大賞を受賞されたI企業の商品を注文するとその都度、手書きの丁寧な挨拶状が送られてくることを記憶していましたので、表彰式の締めの挨拶でそのことを紹介したところ、社長が大層喜ばれ、著書を頂きました。それを読むと創業者である会長さんは、子供の頃父親が病死し、苦学しながら高校に通ったため、病気になる青春時代3年間を病院で過ごし、高校は中退しました。病氣治癒の後、地元の中小企業に就職したとき、「働ける。それだけで有難い」と受け止め、懸命に働いていた二十一歳の秋、関連のI社がピロリ菌で再建を任せられました。ポロ



ポロの会社だったので苦勞の連続でしたが、「これが天職」と受け止めて努力してきた結果、四十八年連続増収増益の業界トップメーカーになっていたので。談話室の壁に百年カレンダーを張り、「君たち、今は若いけど、この中に必ず命日がある!老いても若きも五十歩百歩ですね」と従業員に語りかけているそうです。苦勞人ならではの味わいと感心しました。

「人生は苦なり」。これはお釈迦様の発見されたこの世の真理です。苦難をお念仏もろとも乗り越えた人は「白蓮華のように尊い人よ」と正信念仏偈に讃えられています。苦を引き受けてお蔭様と頂く人は皆、如来様から誉められる身になることが約束されているのです。

#### ☆ホットニュース☆

☆六月二十八日、名古屋別院で開催の門徒総代研修会に伊崎栄一氏・館十三生氏・伊崎幸雄氏の三名が参加。  
☆門徒の陶芸家・堀野証嗣氏(八田)の個展が六月十三、十八日四日市近鉄百貨店で開催され、大好評でした。

#### ☆行事ご案内☆

### 7月20日(日)夜7時半:例会

- ①「正信念仏偈」行誦と草譜、正しい唱和の復習。
- ②「浄土三部経」に親しめるお話、紹介。

お経を読むことは仏さまの素晴らしさを教えられ、讃えることだという基本に立ち返りたい。今日の私たちの課題に引き当てて味わう新たな企画です。

#### ♪三重組コーラス♪ 陽光苑は日程決まり次第連絡

※7月2日(水)名古屋別院音楽祭参加:バス8時半小杉、8時50分桜、(時間厳守)賛葉譜紙、数珠、『娘達よ』『風に向かって』『聖夜』衣装は白ブラウス、黒ロング、男性は黒式服黒蝶ネクタイ58名参加。別院到着後すぐ記念撮影。 ※6月末より2008御堂演奏会の楽譜CDの申し込み受付を開始。お早めにお申し込み下さい(楽譜代2100円、11/22京都西本願寺バスで6回目の参加。

#### ※7月26日(土)夜7時半練習

◇キッズサンガ:7月5日(土)4時お経、紙芝居、ゲーム等

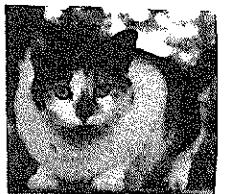
◇一線会テレホン法話11冊目の本『逃げたらあかん』発売中  
059-354-1454へお電話を。3分間の法話が流れます

予告:※8月3日(日)午前8時「おみがき」行事さんよろしく  
※8月上旬、行事さんが平成20年度門信徒会年会費を集めに参ります。ご協力よろしくお願ひします。

◇8月23(土)午後1時半・夜7時半、24(日)午後1時半「永代経」講師加藤正人先生、お経開きは23日(土)午前

### 坊守スケッチ

## アイドル・三毛猫

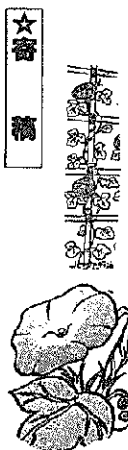


六月初め、散歩で訪れる垂坂山の東屋に、三毛猫が捨てられていました。尻尾の先が曲がり、鼻先に黒い斑点があつて美顔ではないのですが、誰かに飼われていたらしく、毎朝散歩をする人の間で人気者になっています。

一年半前、私達夫婦は、散歩の途中で可愛がった他家の飼い猫トラちゃんを、交通事故で亡くして寂しい思いをしていましたが、早速このミケちゃんともお友達になることにしました。親しくなる手順として、トラちゃんの時と同様に、先ず鳴き合うことから始めました。しかしトラちゃんのように、すぐにべつたりと甘えてはくれません。飼い主に捨てられて、野良生活を送っているせいか、警戒心が強いのです。ちよつとした音にもビクビクして、鳥が飛び立とうものなら、眼で追いかけます。何回も声をかけているうちにおそろおそろ近寄り、足元に擦り寄ってきました。何もエサを持たない私達はただひたすら撫でるだけ。最初毛はゴワゴワしていたのですが、多くの人が撫でるので、次第に柔らかい毛並みになりました。そのうち誰かれとなくエサをもらうようになりました。一人暮らしのおじいさんが、前晩に食べた魚の頭を持ってきました。また猫

好きの奥さんも、死んだ飼い猫のキヤットフードの残りを持ってきました。腰節の袋を持ってきた人は、口がパサつくからと水まで用意する心遣い。至れり尽くせりの待遇を受けたミケちゃんは、すっかりグルメ猫になり、たちまちメタボ気味になりました。私はエサを持たないので、木の枝で猫ジャラシを作り、ミケちゃんと遊ぶだけ。初めは腹を見せて喜びましたが、そのうち「フン、エサもくれないならいつまでも相手してやらないよ」と言わんばかりに興味を示さなくなりました。でも雨の日には、エサやりの人達の散歩がお休みなので、ミケちゃんは私達の足元にまつわりつきます。住職はカメラでミケちゃん撮影。これから先梅雨になると、ミケちゃんはずっと空腹に耐えなければなりません。仏様のお慈悲は、いつでもどこでも誰にでも限りなく注がれています。人間の愛情というのとはつくづく自分本位だと思えます。野生の本能を失いかけた猫が、人間の身勝手な愛情だけを頼りに生きていけるか心配です。先日これとは別に、垂坂公園の南の山に三匹の生まれたての子猫が、ダンボールに入れられ捨てられています。カラスが襲って瞬く間に三匹とも

亡くなったそうです。猫の社会でもアイドルになる猫もいれば、エサも貰えず、命を落とす可哀想な猫もいるのです。格差社会の厳しさは、猫も人間も同じかも知れませんが、せめて命あるものには、最後まで責任をもって育てるのが、人間の務めだと思えました。今朝も新緑のトンネルを通り、三毛猫と遊ぶのを楽しみに散歩する私です。



亡くなったそうです。猫の社会でもアイドルになる猫もいれば、エサも貰えず、命を落とす可哀想な猫もいるのです。格差社会の厳しさは、猫も人間も同じかも知れませんが、せめて命あるものには、最後まで責任をもって育てるのが、人間の務めだと思えました。今朝も新緑のトンネルを通り、三毛猫と遊ぶのを楽しみに散歩する私です。

### 三重組コーラス

※七月二日(水)第4回名古屋別院東海音楽院バス8時半小杉公会所・8時50分桜「娘達よ」風に向かつて「聖夜」3曲披露「コーラス用紙、黄色楽譜紙、数珠五十八名の参加申し込み感謝!

※七月二十六日(土)夜七時半練習2008御堂演奏会楽譜・CD受付(2100円)お忘れなく!

※十一月二十二日の御堂演奏会参加楽譜と参加費(交通費・昼食代六千円)は八月末より受付開始します。

### キッズサンガ・杉の子合唱団

◇七月五日(土)午後四時より子供向けのお経、ゲーム、お菓子等

### ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第一七五号をお届けします。◇今年も早七月、一年の折り返し点です。◇蛙の鳴き声が聞こえる夜、「蛙鳴く／夏の短か夜人こと」に「ころころ」の夢を見る哉(利井明朗)の歌を想い出しました。この短歌は利井師八十三歳の作と記され、真宗人名辞典によれば師が本山再建の任務を担われ二度目の執行長(今の総長)在任中の歌で、教えて九十三年前の作と知られます。◇担われた責任の重さを感じさせない豊かな味わいに心打たれます。◇怒りや不平・不満で心騒ぐ我々は立ち止まり、静かに永遠の彼方に思いを馳せる時をもちたいと思ふこと、切なるこの頃です。◇読者の皆様向暑の候「自愛下さい。合掌

☆寄稿  
四日市市 川崎 孝一  
「左巻き」で善いんだよな 空に向け  
只管伸びる オーシャンブルー  
☆貴寺報に 愚歌連載も 五年満つ  
辱かしくて 耳染熱る  
四日市市 釈 弘通  
☆静けさも 雨降る音も 大いなる  
ものより届く 贈り物なり  
家に一人いると静かな時間を過ごします。雨の降る音にまで耳を澄まし、大いなるものに感謝する今の私です。  
「琵琶湖航の歌」替え歌  
兵衛 布教使 小泉信了先生 作詞  
一、お経の意味は 知らねども  
両手合わせて お念仏  
み親の光 見えねども  
つつみています やわらかに  
二、めぐみの光に 照らされて  
おかげさまよと 育てられ  
蓮華のつぼみ すくすくと  
※はぐくみまもり たもうなり  
(※もう一度)全国布教同志会で上演

垂坂山の展望台から西へ少し下がった所に見事な山桜の大木が  
あります。根は一つですが幹は途中から別れ樹齡三百年以上の  
古木です。そのすぐ左隣に塚があります。それは天保の頃(江戸  
末期)二人の母子連れが元三大師に詣で帰路忍びぬ吹雪  
に遇い行き倒れになぞ葬られた土盛りでした。子の七三郎は  
「人の世も悲し人の世やいとおしく倒れ伏すも花の下」の歌まで供えられ  
里人によそ葬られたという伝説です。散策コースから外れています  
ので知る人も少ないのですが今でも春になると花を咲かせてくれ  
天保の時代といえは栄耀栄華の文化文政時代から一転して  
大々さんが起り政治は腐敗して百姓一揆や打ちこわし等庶  
民生活はどん底でした。バブルが弾けて格差社会や競争社  
会に苦しみ平成の時代と似たところがあります。しかし大々違  
うところは昔はたとえ貧しくても母子でお参りしたいという夢  
があったこと。たとえ行きずりの人でも手厚く葬りの代々語り継が  
れた人の絆が存在したこと。そして「歴史に学ぶ」と言われぬが  
現代に生きている私達が見失った確かなものがあったように思  
います。秋葉原無差別殺傷事件の犯人のように孤獨感・絶望感  
に陥りキレる人は沢山いると思います。しかしそこでブレーキがかかる  
か否かのキーワードは「家族」や「親」だと思います。時代や社会の  
せいにするのではなく一番身近な人間の絆を今一度深める  
努力をしたいものです。ところでワタシも名古屋別院音楽祭  
(三重県宇治三軒58名参加)に協力感謝します。ワタシは夜例会  
ワタシは夜例会練習、向暑の折くれくれも「自愛下よ」とも

平成二十年七月

合掌

善正寺坊守持